

第22期第11回 松浦海区漁業調整委員会 議事概要

- 1 日 時 令和4年3月14日（月） 14時57分から15時46分
- 2 場 所 唐津市海岸通り7182番地217
唐津市水産会館 多目的ホール
- 3 出席者 佐賀県松浦海区漁業調整委員会
- | | |
|---------|---------|
| 会 長 | 川 寄 和 正 |
| 会長職務代理者 | 池 田 宏 子 |
| 委 員 | 坂 本 安 則 |
| 〃 | 川 口 安 教 |
| 〃 | 宮 崎 雅 司 |
| 〃 | 坂 口 正 人 |
| 〃 | 後 藤 政 則 |
| 〃 | 福 良 繁 一 |
- 4 臨席者 佐賀県水産課
- | | |
|----------|---------|
| 漁業調整担当係長 | 寺 田 雅 彦 |
|----------|---------|
- 佐賀県海区漁業調整委員会事務局
- | | |
|---------|---------|
| 事 務 局 長 | 江 口 泰 蔵 |
| 主 任 主 査 | 川 崎 明 弘 |
- 5 議題及び議決事項
- (1) 佐賀県資源管理方針の変更（案）について（諮問）
・・・・・・・・原案どおり承認
- (2) 特定水産資源に関する令和4年管理年度における知事管理漁獲可能量の設定（案）について（諮問）
・・・・・・・・原案どおり承認
- (3) 令和4年（2022年度）もじゃこまき網の許可方針（案）について（諮問）
・・・・・・・・原案どおり承認
- (4) ぶり（もじゃこ）特別採捕許可方針（案）について（協議）
・・・・・・・・原案どおり承認
- (5) 玄海漁協肥前町統括支所におけるカキ・ヒオウギ貝養殖試験について（協議）

- ・ ・ ・ ・ 原案どおり承認
- (6) 漁業法第90条にかかる資源管理の状況等について(報告)
 - ・ ・ ・ ・ 原案どおり承認
- (7) 第40回日本海・九州西広域漁業調整委員会について(報告)
 - ・ ・ ・ ・ 事務局から報告
- (8) その他
 - ・ ・ ・ 遊漁船と漁船とのトラブルについての意見
 - ・ ・ ・ ・ 事務局から次回の委員会の日程について説明

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題	1・2	寺田係長
議題	3・4・5	川崎主任主査
議題	6	寺田係長
議題	7	川崎主任主査
議題	8	江口事務局長

(2) 質疑応答

【議題(1)(2)について】

- ・ 質疑なし

【議題(3)(4)について】

- ・ 質疑なし

【議題(5)について】

(池田委員)

肥前は以前からヒオウギの試験をやっていたと記憶しているが今回は新規の漁場か。

(宮崎委員)

以前は仮屋湾で行っていた、ヒオウギは仮屋湾では養殖に適していないということで辞めた。今回は駄竹地区で行う、うまくいくのではないかと期待している。

【議題(6)について】

(池田委員)

資源管理の状況報告で、共同漁業権について、一部の漁協は出荷状況について聞き取りのみのところが気になるが。

(寺田係長)

仕切書や市場の出荷伝票などそういったものがあって、聞き取り調査で更に補足することが基本であるが、始まったばかりで手探りの状況であるのでしっかりと把握を行う。

(池田委員)

県としては仕切書を作っていただききたいというお願いベースになるのか。

(寺田係長)

現場サイドとしてはやはり聞き取りはしていただくこと、後は出せるデータは色々出してきちんとやっているということをどうにかしていかないといけない。県としては初めてのやり方なの、でどこまで行うかというのは現在模索中である。

(川嵯会長)

その辺りはきちんとある程度のところをオープンにしていけないといけない。そして漁業法改正の中で組合が管理している漁業権をどう利用しているかをここで出している。漁業法が変わったという意味の内容なので、今まで通りで考えていたらだめだと思う。

【議題（7）について】

- ・質疑なし

【議題（8）について】

(川口委員)

遊漁船が増えすぎて漁業者の漁業に支障が出る事例が増えてきている。遊漁船に対して漁業者とトラブルにならないように指導をしてもらいたい。

接触事故や漁業者の後ろでイカを釣ったりするなどのマナー違反が多い。

(寺田係長)

事故等の情報については何らかの形で遊漁船の登録をされている方々には周知させていただく。

(川嵯会長)

遊漁とのトラブルが長く続いており、その問題は全国海区調整委員会の中でも要望書として課題に挙げている。プレジャーボート関係にも対応してるが、遊漁者も遊漁関係の団体に入っていない人が多い。そういったことを踏まえてどのように周知するかという話にもなってくる。その辺りでこちらは生活がかかっている件なので、それはもう常々言ってきている。